

Strix 8: 286-287 (1989)

マガモとオナガガモの雑種個体の観察

時国公政¹

石川県田鶴浜町の七尾西湾で、マガモとオナガガモの間の交雑個体と考えられる雄1羽を観察したので、その記録を報告する。

能登半島のほぼ中央部に位置する七尾西湾は、波静かな内湾で、特に舟尾川、川尻川、三引川の河口干潟を含む田鶴浜町の海岸一帯は、水鳥の集団渡来地として170haの海面が鳥獣保護区に設定されている。

本種の初認から終認までの状況は、次のとおりであった。

1987年12月19日 初認

1988年 3月22日 越冬を終えオナガガモの群れとともに渡去。

11月 3日 オナガガモの群れに混ざり再び渡来。

12月31日 確認できず。連日、鳥獣保護区の境界付近を猟舟が走り、飛びたさせては銃猟しており、銃獲された可能性があると思われる。

大きさはオナガガモと同じ。緑色の光沢のある頭部、白い首、太いくちばし、赤褐色の胸、オレンジ色の足はマガモそのもの。くちばしの色、下尾筒それにはね上った長い尾はオナガガモに似る。背は両者の特徴がみられ、換羽期の羽色の状況はオナガガモと同様であった(図1)。

常にオナガガモの群れと行動していたが、独特な外観をもつため識別は容易で、習性を知る上で大変、貴重な存在であった。この鳥は猛禽類の接近や銃猟が行なわれないかぎり、川尻川河口付近や白浜海岸などのごく限られた範囲内で行動していた。鳴き声は不明であった。



図1. マガモとオナガガモの雑種と考えられる雄ガモ(右端)。

Fig. 1. A possible male hybrid between the Mallard and Pintail.

1. 〒 929 - 21 石川県鹿島郡田鶴浜町字大津マ部62番地

A hybrid between the Mallard and the Pintail

Kimimasa Tokikuni¹

A possible male hybrid between the Mallard *Anas platyrhynchos* and the Pintail *A. acuta* was observed at the Bay of Tazuruhama in Ishikawa in the winters of 1987 and 1988. The plumages of head, neck, and breast were similar to those of Mallards, and their bill color and pin-tail were like Pintails.

1. Mabe 62, Tazuruhama-machi Ohtsu, Kashimagun, Ishikawa 929-21.

1989年12月8日受理